

日産車体株式会社

個人投資家向け会社説明資料

(2026年3月期)



2026年 5月

コーポレートパーパス・ミッション等

コーポレートパーパス(存在意義)

人々の生活を豊かに。イノベーションをドライブし続ける。

ミッション(使命)

私達日産車体は信頼される企業として、独自性に溢れ、お客さまに魅力ある質の高いクルマとサービスを、タイムリーにお届けします。

DNA

他のやらぬことを、やる

情熱的 革新的 挑戦者 機動性

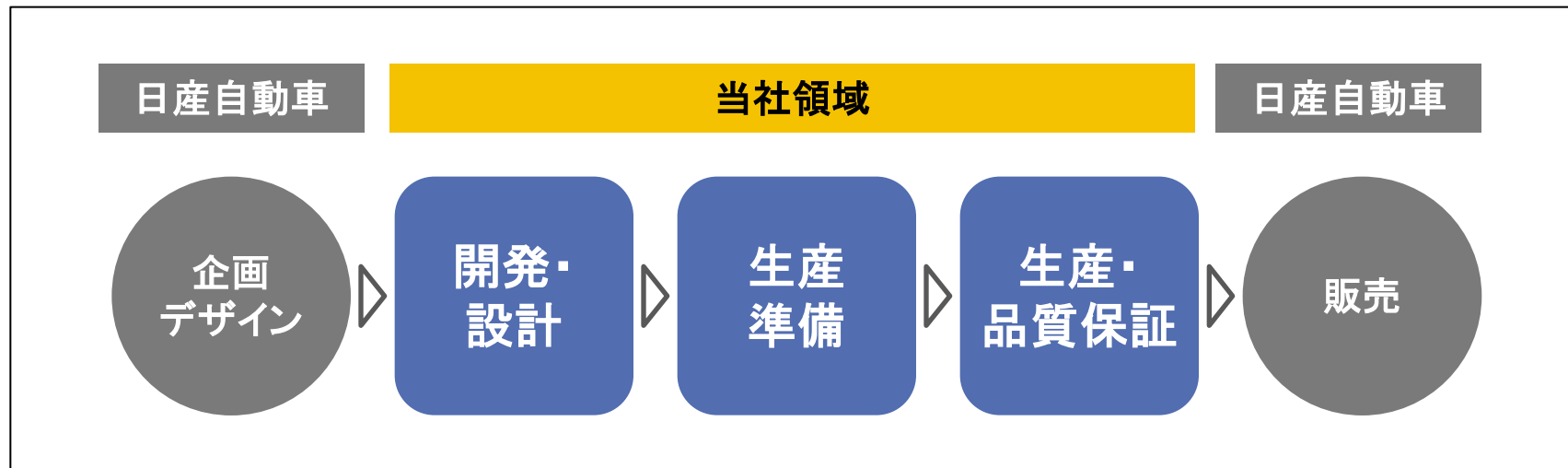
Nissha-ism

日車らしさを、車づくりで表現する。

- ・お客さま、仲間を想い、知恵を出す
- ・何ができるか自ら考え行動する
- ・機動力を活かし、チームで挑み続ける

Outline

**日産車体は、
商用車・プレミアムカーを中心とした開発・設計から
生産準備、そして工場での生産・品質保証までを担う
日産グループの完成車メーカーです**



日産車体グループ

湘南工場と日産車体九州の2つの生産拠点が主軸です

	日産車体(株)	日産車体九州(株)
設立	1949年	2007年
事業内容	各種自動車の開発から 品質保証まで	自動車および その部分品の製造・販売
従業員数	1,668名	1,220名
生産拠点	神奈川県平塚市	福岡県苅田町

(2026年3月31日現在)

湘南工場



日産車体九州工場



グループ会社

日産車体マニファクチュアリング株式会社

- ▶ 自動車部品のプレス加工・組立、樹脂製品の成形・組立

日産車体エンジニアリング株式会社

- ▶ 生産設備・物流機器等のエンジニアリング、製造、販売

株式会社 オートワークス京都

- ▶ 自動車の特別架装

日産車体コンピュータサービス株式会社

- ▶ システム開発・プログラム開発業務

株式会社 プロスタッフ

- ▶ 人材派遣

沿革

年月	社歴
2024年	4月INFINITI「QX80」、7月「パトロール」(Y63)、10月「アルマーダ」(Y63)生産開始
2018年	11月パラメディック(E26)発表
2014年	3月、新本社を第2地区に竣工・湘南地区再編完了
2012年	湘南工場第1地区での車両生産を終了、湘南工場第4地区での車両生産を第2地区へ集約、湘南工場の車両生産体制の再編を完了
2010年	日産車体九州稼働開始
2007年	子会社「日産車体九州株式会社」設立／生産累計1,500万台達成
1992年	生産累計1,000万台達成
1951年	日産自動車株と提携
1949年	当社前身 新日国工業(株)設立

▶ INFINITI



▶ LCV



NV200 NY市 タクシー提案モデル

▶ ミニバン



▶ フェアレディZ



主な生産車

湘南工場



NV200
VANETTE
NV200 バネット

日産車体九州



QX80
QX80



PATROL
パトロール：Y63



PATROL
パトロール：Y62



ARMADA
アルマーダ



ELGRAND
エルグランド



CARAVAN
キャラバン

オートワークス京都



救急・医療関係車両



消防関係車両



幼稚園バス



公共応急作業車両



道路維持作業車両

※ 株式会社オートワークス京都は、パラメディック(高規格救急車)など救急・医療関係車両、消防関係車両、幼稚園バス、公共応急作業車両など働くクルマの架装を行っている日産車体株式会社のグループ会社です。

特長

完成車メーカーとしてのDNAを活かした、 多くの特長を持っています

湘南工場

小型商用車(LCV)を効率よく高品質
に生産



日産車体九州

厳しい品質基準をクリアし、日産のプレミアムブランドである「INFINITI」の生産を許されている工場



▶ ローラーヘミングによるエンジンフードの生産



▶ 3-WET塗装

特装車

グループ内での一貫生産により、高品質な特別仕様車をスピーディに提供



2025年度 連結決算概況

決算サマリー

当社グループを取り巻く環境は、米国を中心とした通商問題による世界経済を通じた間接的な影響に加え、第4四半期に起きた中東情勢の影響に注視する必要があった。

このような環境において、主に前連結会計年度に生産を開始した「新型パトロール」、「新型アルマーダ」等の売上台数の増加や、生産効率の向上等により増収・増益となった。特別損益では、当社湘南工場のサービス部品生産への事業転換に伴い、当社固定資産の減損損失26億円及び当社グループ全体で約800人の対象者を前提に合理的に見積った人事施策にかかる費用として事業構造改革引当金繰入額21億円等を特別損失に計上した。

売上台数

前連結会計年度に生産を開始した「新型パトロール」及び「新型アルマーダ」の増加等により、前年同期と比べ、5.6%増加の154,668台

売上高

台数増加の影響等により、15.2%増加の4,038億円

営業利益

台数増加の影響に加え、生産効率が向上したこと等により前連結会計年度と比べ175.1%増加の141億円

経常利益

前連結会計年度と比べ157.9%増加の150億円

親会社株主に帰属
する当期純利益

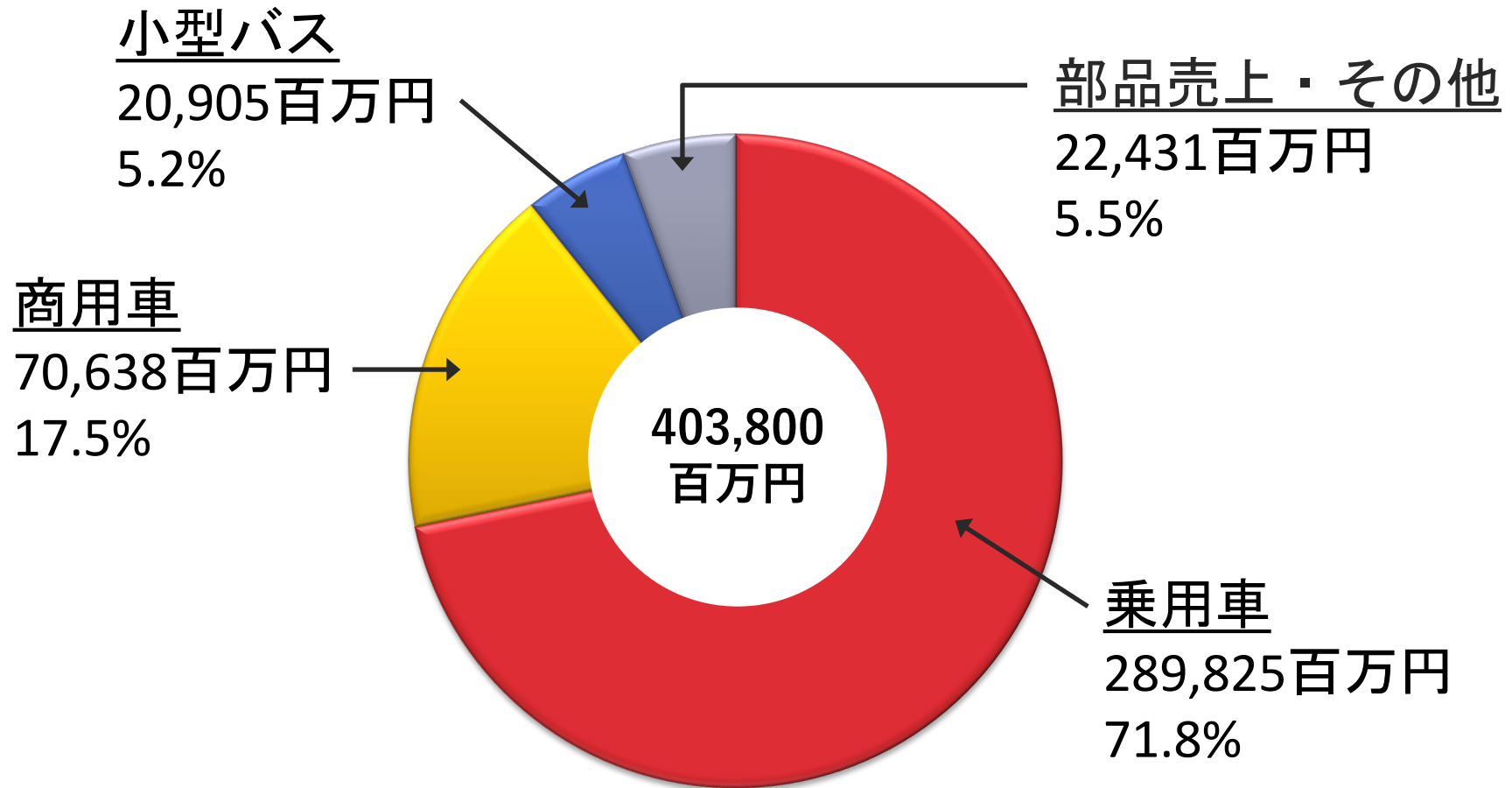
前連結会計年度と比べ127.3%増加の68億円

業績ハイライト

単位:百万円

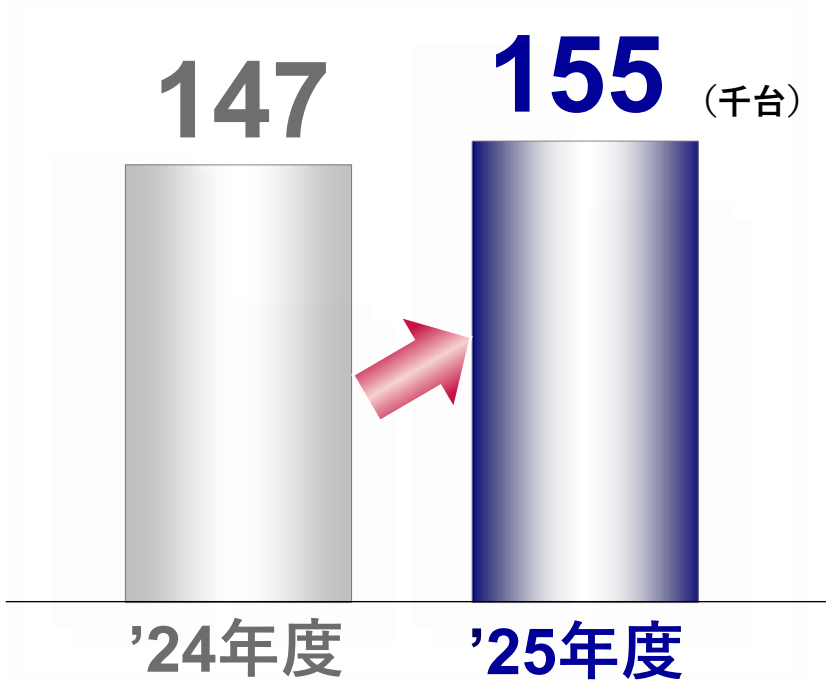
	2024年度 (2025/3)	2025年度 (2026/3)	増減額(率)		2026年度 計画
売上高	350,508	403,800	53,292	15.2%	448,000
営業利益	5,147	14,161	9,014	175.1%	21,000
経常利益	5,847	15,080	9,233	157.9%	21,500
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,033	6,893	3,860	127.3%	14,000

製品別売上高構成比



売上台数

前連結会計年度に生産を開始した「新型パトロール」及び「新型アルマーダ」の増加等により、前年同期と比べ、5.6%増加の154,668台

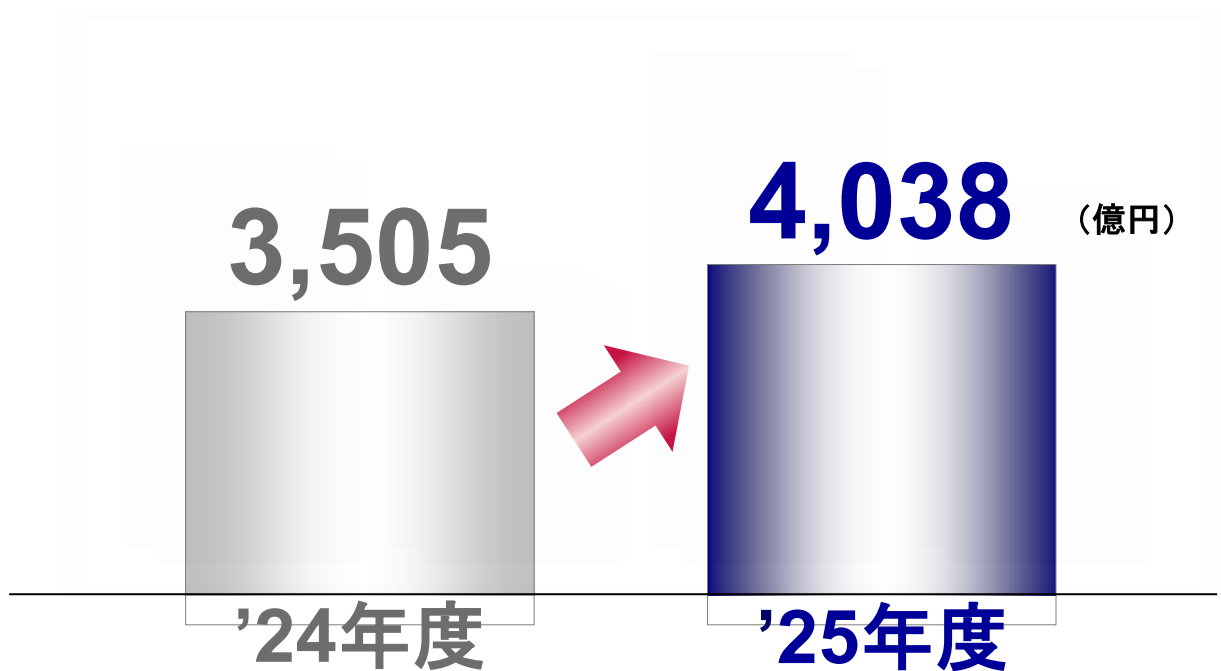


(千台)

	前期実績	当期実績	増減率
乗用車	79	94	18.7%
商用車	55	49	▲12.0%
小型バス	12	12	▲0.9%
合計	147	155	5.6%

売上高

台数増加の影響等により、15.2%増加の4,038億円

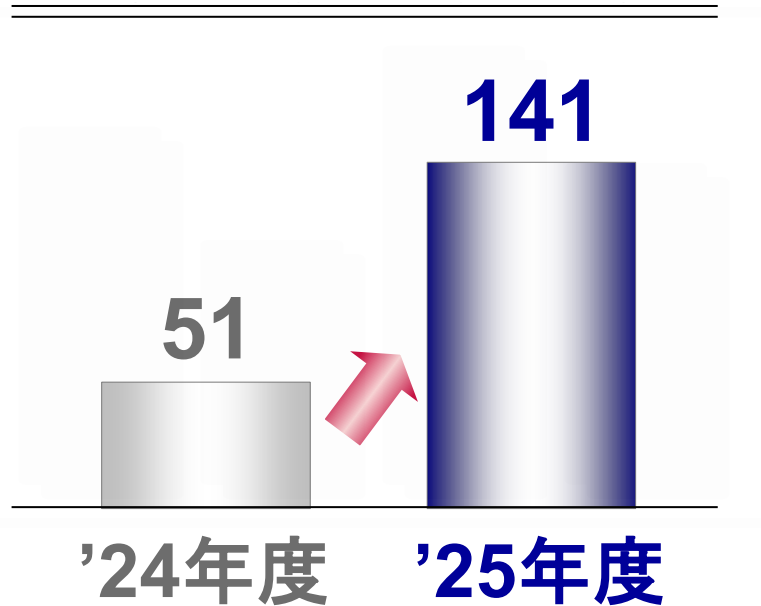


営業利益／経常利益

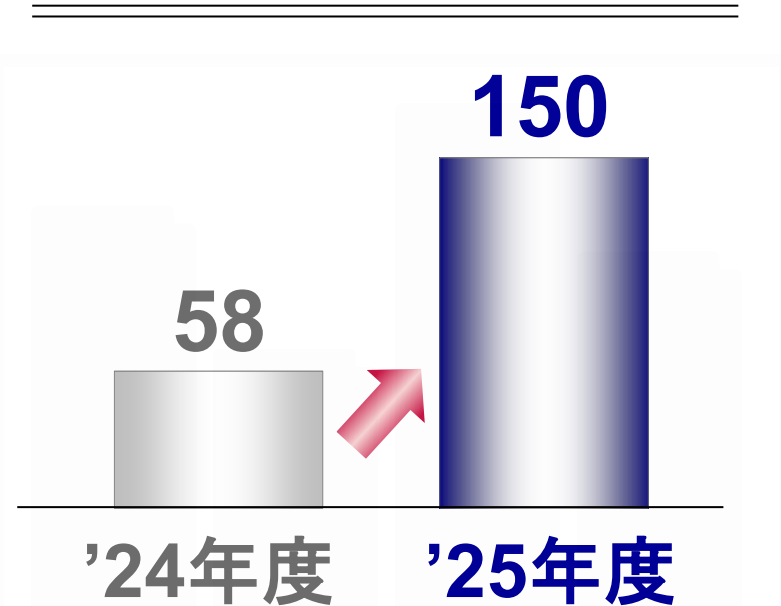
営業利益は台数増加の影響に加え、生産効率が向上したこと等により前連結会計年度と比べ175.1%増加の141億円

経常利益は前連結会計年度と比べ157.9%増加の150億円

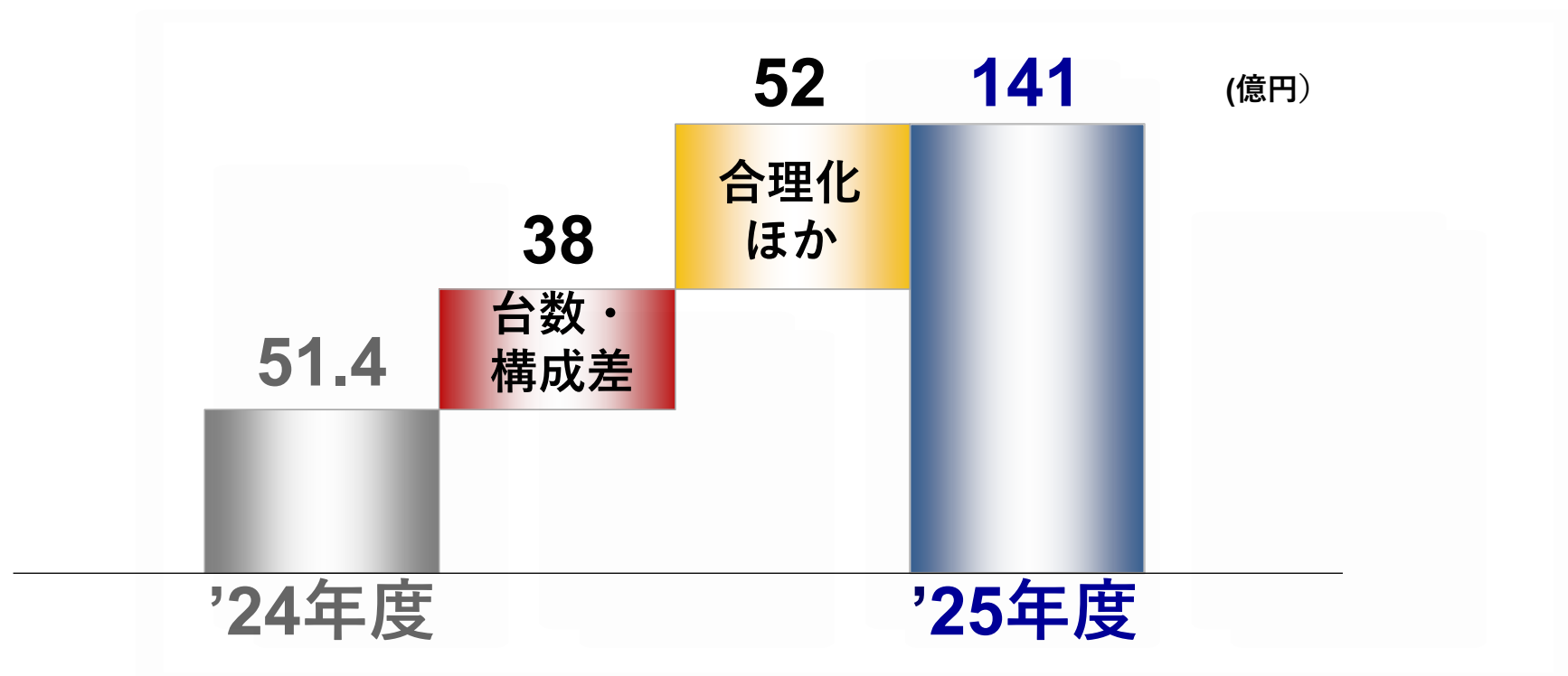
営業利益 (億円)



経常利益 (億円)

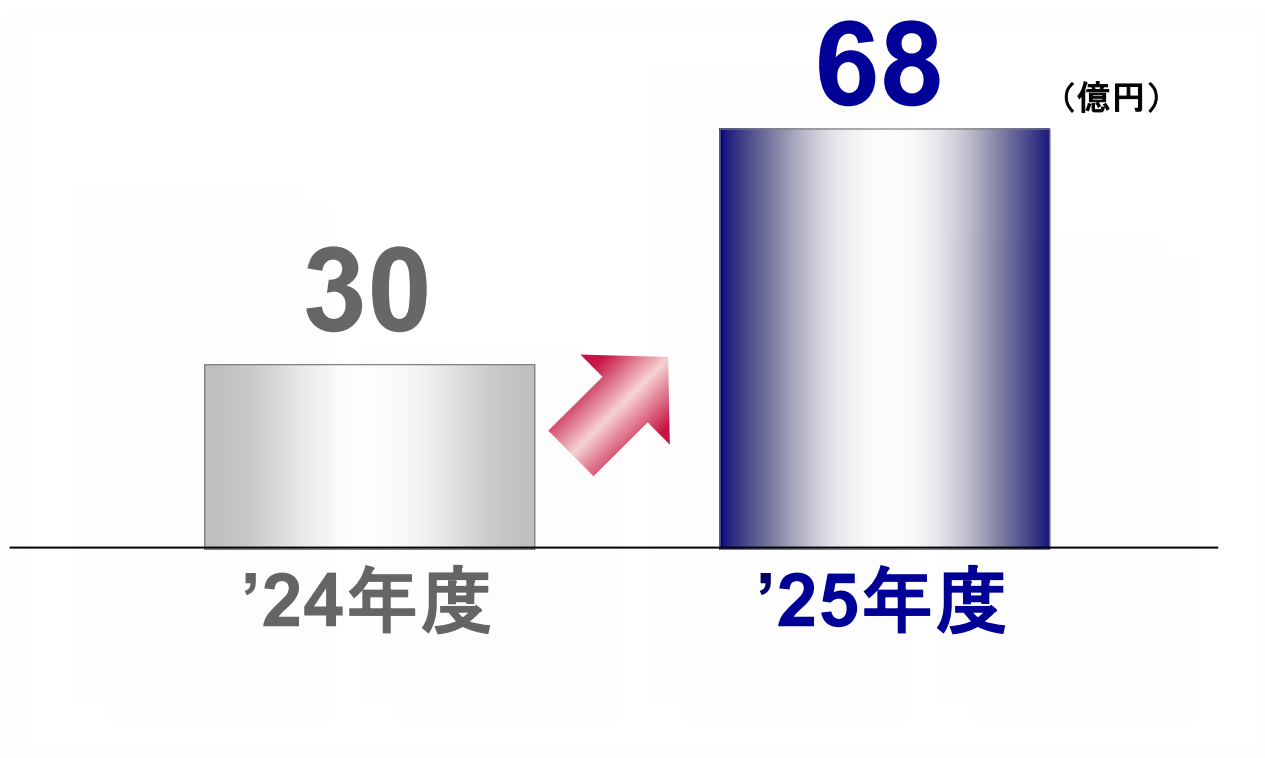


営業損益の増減要因



親会社株主に帰属する当期純利益

前連結会計年度と比べ127.3%増加の68億円



2026年度 連結業績見通し

2026年度の業績予想

<今後の見通し>

2027年3月期は、新型車の生産開始などにより2026年3月期よりも売上台数は増加する見通しであります。このような状況を踏まえ、2027年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高4,480億円、営業利益210億円、経常利益215億円、親会社株主に帰属する当期純利益は140億円を見込んでおります。

単位：百万円

	2025年度 (実績)	2026年度 (計画)	増減額	増減率
売上高	403,800	448,000	44,200	10.9%
営業損益	14,161	21,000	6,839	48.3%
経常損益	15,080	21,500	6,420	42.6%
親会社株主に帰属する 当期純損益	6,893	14,000	7,107	103.1%

株主還元

2026年度 1株当たり配当金

2026年3月期の期末配当は1株当たりの配当を前期比で2円50銭増配の1株当たり9円00銭

2027年3月期の配当予想は未定

